

ばならない。

されば海のない港の中に自動車の流れを横切らうとする

吾々は、判示の如き注意を爲すべき法律上の義務を負ふものであることを明かにしてもらいたかつた。

岐垣國道の改築成る

J · T 生

昭和十年十一月十五日。錦繡の秋も深み菊花馥郁の香を送る此の日。岐垣國道の竣功式が舉行せられた。此の盛儀を祝して岐阜市に集る者數萬、爲に長良の清流も一時暗しの感があつた。

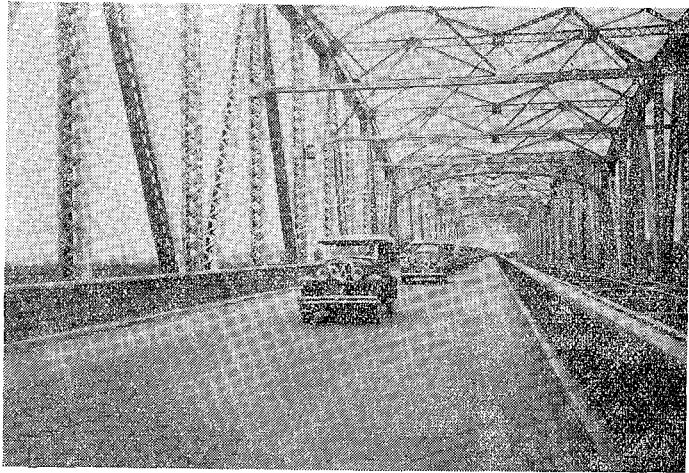
國道岐阜、大垣間は所謂中山道の一部で、其の構造の劣悪は、揖斐、長良二大川を始め多數支派川の横過と共に古來傳稱せられた行路の難所であつたが、今や全く其の面目を一新して白銀一線坦々一萬四千米の近代的明粧道路となつたのである。幅員一〇米乃至二四・六〇米の全線に鋪裝を施し高速度交通機關の需要に應ずると共に、岐阜、大垣

兩市の都市計畫區域内は歩車道を區別し、並木を植栽し、中央には植樹帶まで設けて之に高麗芝を植込み、ドライブアーの車窓に綠を樂しませる其の豪華さは、本誌に中仙道紀行をものされるH U 生氏が「新裝花嫁の如き道路」と謂つて居られるのでも判らう。

近時友邦滿洲國の飛躍的發展につれて、我國との交通運輸は最短捷路たる敦賀港を利用するの趨勢にある爲、大平洋岸と日本海岸とを結ぶ十二號國道は所謂名敦道路として其の重要性を認識されつゝある。時あたかも、其の經過地の一部に屬する、岐垣國道の完成は、曩に近代的工法に基

いて國が直轄改良した笠松國道及岐阜、愛知兩縣協力のもとに目下施行されつゝある木曾川橋の架換と相俟つて、其の齎す効果は只に岐阜大垣兩都市の發展のみならず我國産業經濟上すばらしいものがあるであらうとは識者の言である。

世界大戰後引續いた經濟界の不況に起因して失業者の續出を來した爲に政府に失業救済の議が起つたとき、岐阜縣當局は失業救済土木事業として本國道の改良を計畫し、昭和五年十二月着工以來、數度の出水其の他種々の艱難と戦ひ涙ぐまじき努力のもとに、四年四月の日子と三、一三八、九一〇圓の鉅費を投じて遂に今日の完成を見たものである。



此の改良計畫樹立の始に當つて、稻葉郡の日置江村から

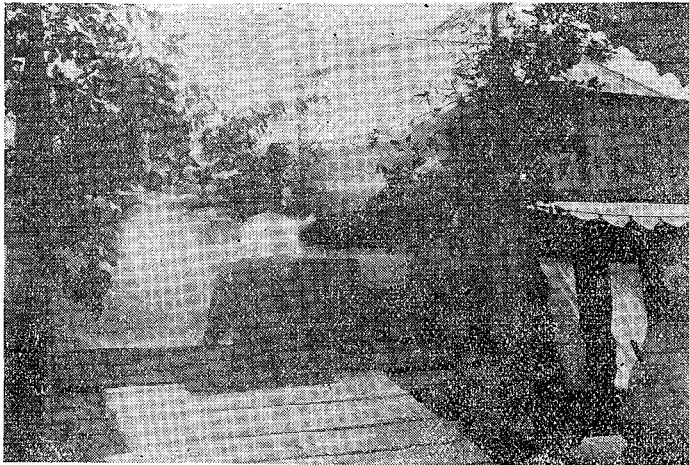
安八郡安井村に至る間、國道に併行して地方鐵道敷設の免許を得てゐた伊勢電氣鐵道株式會社は國道改良區間中の長良川橋及揖斐川橋を鐵道併用橋として架設されたき旨を要望して工費中一、二四五、二四二圓の寄附を申出たので、縣當局は之を採納して工事にかゝつたのであつた。處が事業不振の爲か、會社は鐵道敷設を行はないばかりか、橋梁工事完成の今日に至るも、僅に一、一〇六圓を納めたのみで寄附金の大部分を納めてゐない。縣の支拂命令の申立に對し會社は異議の申立を爲し事件は目下安濃津地方裁判所に繫屬して居

初 通 の 橋 の 大 良 長

り、近く判決の運びとなつてゐるさうである。

假りに勝訴の判決があつたとしても、半分が道路橋で半分が柵にかこはれた鐵道なき鐵道橋の不體裁は解消すまい。前後道路の美觀と對照して、花嫁の袖口からメリヤスのシャツがのぞいてゐるような感がする。此の問題はどう鼻が付くか、坂長官の手腕に俟つ處が多い。

式典は午前十時岐阜市本莊の工事起點に於て朝野名士列席のもとに行はれた。神事型の如く濟んで櫻井土木課長の工事報告、坂知事の式辭朗讀に次いで來賓の祝辭に移り、武若内務事務官は内務大臣の祝辭を代讀せられた。本工事の完成にあらゆる協力を惜まなかつた隠れたる功勞者、岐阜市長の松尾さんが協賛會長として



の盛觀」とでも謂ふべきであらう。行列自動車の一に乗る

の祝辭を「草昧未開ノ太古ハ之ヲ言ハス、嘗ニ中古ノ旅日

讀朗辭式 知事縣 岐阜 坂

記ヲ讀ミ又近古ノ軍記類ヲ閱スルニ濃美ノ三大川カ如何ニ行路ニ艱難ヲ與ヘ活動ニ不便ヲ加ヘシカハ蓋シ想像スルタニ涙無キヲ得サル也。然ルニ時ナルカナ今ヤ坦々タル直道頃刻ニシテ岐垣ノ兩區ヲ輕車ノ窓ニ收ムルニ至ル、昭代ノ惠澤ヲ思ヒテ誰レカ今昔ノ感ニ堪ヘサルモノアラシヤ」と名調子で朗讀された敬虔な態度には、なみゐるもの思はづ襟を正した。

正午閉式の後引續いて通初式が行はれた。晴れの三夫婦二組に續く數十臺の自動車が縦々列をなして直道を輕走する様は全く「モダン通初式

ことの出来た筆者は、車が長良大橋を渡るとき、松尾さんの祝辭に「二條ノ長橋ハ颯々トシテ蒼龍ノ大江ニ水飼フカ如シ」とあつたのを思ひ出した。「あばら骨をむき出した龍」そんな失禮なことを考へてゐる間にもう、織維工業の躍進を呼吸してゐる大垣市の姿が目前に迫つて來た。

岐垣國道改良工事概要

起業者 岐阜縣知事

區間 自岐阜縣岐阜市本莊立會
至同縣稻葉郡加納町
至同縣大垣市藤江町

延長 一三、七八二米九六

工事費 三、一三八、九一〇圓

工種 道路改築(路面構造、鋪裝
幅員、一〇米——二四・六〇米)

橋梁架設 長良大橋 フォーレン式鋼鐵桁橋、徑間
六四米六連、幅員、七米四
揖斐大橋 (道路敷) 七米四一(鐵
道敷)

工期 着手昭和五年十二月十五日
竣功同 十年三月三十一日

岐阜縣知事式辭

岐阜大垣間國道改築工事成り本日茲ニ竣功式ヲ舉クルニ至レルハ寔ニ欣幸トスル所ナリ

本路線ハ十二號國道ノ一部ニシテ本邦交通上極メテ重要ナル地位ヲ占ム然ルニ舊國道ハ幅員狹少ニシテ屈曲多ク加フルニ鐵道東海道本線ト平面交叉ヲナシ且長良、揖斐ノ兩川ニ架設スル橋梁ハ何レモ腐朽シ近代交通ノ要求ニ副ハサルコト甚シク是カ改築ハ喫緊ノ要事タリ、偶々世界的不景氣ノ波紋ハ本縣ニモ襲ヒ來リ失業者日ニ月ニ續出シ憂慮ニ堪ヘサルモノアリ政府ニ於テハ是等失業者救濟事業ニ對シ補助金交附ノ途ヲ開カレタルヲ以テ乃チ實施計畫ヲ立テ國庫補助並岐阜、大垣兩市ノ寄附金ヲ得テ昭和五年十二月工ヲ起シ爾來工程四年四ヶ月資ヲ費スコト三百十四萬餘圓此ノ間財政並工事施行上幾多ノ困難ニ遭遇セシト雖モ政府並地方人士ノ援助ト工事關係者ノ苦心努力トニ依リ茲ニ新式善美ナル道路ノ完成ヲ見ルニ至レリ、而シテ岐阜市内トノ連絡ハ省線東海道線ニ遮斷セラレ不便尠カラサリシヲ以テ本

莊跨線橋架設ノ計畫ヲ樹テ昭和八年十月工ヲ起シ茲ニ竣功
ヲ告クルニ至レリ

惟フニ本道路ノ竣功ニ依リテ岐阜大垣間ノ交通ハ其ノ面目
ヲ一新シ曩ニ改築セラレタル岐阜國道及目下改築中ノ大垣
市内延長工事ト相俟テ中部日本東西交通運輸上一新紀元ヲ
劃シ裨益スル所極メテ大ナルモノアラム庶幾クハ將來本道
路ヲ利用シ益々地方産業ノ發展文化ノ促進ニ資セラレムコ
トヲ一言述ヘテ式辭トス

昭和十年十一月十五日

岐阜縣知事正五位勳四等 坂 千 秋

内務大臣祝辭

岐阜大垣間國道改築功ヲ竣ヘ本日茲ニ竣功ノ式典ヲ舉ケラ
ル寔ニ慶賀ニ堪ヘサルナリ

抑々岐阜大垣兩都市ハ共ニ我國産業經濟上重要ノ地位ヲ占
メ其ノ關係夙ニ緊密ナルモノアルニ拘ラス之ヲ連絡スル道
路ノ施設ハ依然トシテ中山道ノ舊態ヲ存シ現代交通ノ要求
ニ添ハサルコト久シカリキ

岐阜縣當局並關係市町村思フ此ニ致シ曩ニ縣事業トシテ之
カ改良ヲ計畫スルヤ政府亦之ヲ助成スル所アリ拮据經營四
年有半費ヲ費ス三百十餘萬圓今茲ニ規格工法現代ノ粹ヲ蒐
メ其ノ完成ヲ見ルニ至レリ之ニ依リテ兩都市間ノ交通ハ勿
論國道幹線ノ交通ハ一段ノ利便ヲ加ヘ文化ノ向上産業ノ進
展ニ寄與スル所極メテ大ナルモノアルヘシ冀クハ官民一致
ノ協力ニ依リ維持管理宜シキヲ得長ニ其ノ効果ヲ收メラレ
ムコトヲ

一言以テ祝辭トス

昭和十年十一月十五日

内務大臣 後 藤 文 夫

× ————— ×

× ————— ×